

## 三嶺の森をシカの食害から守ろう ポランティアが防止ネットを設置

〈高知中部署〉

三月一六日、地域発案システムの取組として、当署、「三嶺の森をまもるみんなの会（依光良三代表）」、高知県及び物部川流域三市（香美市、香南市、南国市）の六団体の共催により、三嶺への登山道周辺にニホンジカ食害防止ネット（防護柵）を設置しました。

近年、三嶺周辺の天然林内のモミ等の立木やササ等の下層植生が、ニホンジカの食害による被害が拡大しています。このままでは森林生態系に影響を与えることが懸念されることから、昨年一月一〇日の実施に引き続き、「三嶺の森をまもるみんなの会」の協力を得て、被害の拡大防止のため実施したものです。

当日は、同会の会員や地元香美市の門脇市長ら行政関係者、高知大学生等の森林ポランティアの協力を得て、四国森林管理局及び当署職員を合わせた約一〇名が参加しました。

設置箇所は、西熊山国有林三三林班内の「さおり方原」「トチノキの巨木」、三三林班



内の「カンカケ谷」周辺です。七班に分かれて、被害を受けているマネキグサやクマガイソウ等の希少種の植物の回復と保護を図るために、一・八mの高さのネットを周囲長四〇mから八〇mの延長で方形状に設置しました。

今後、防護柵が倒れたり、ネットが破れたりする恐れもあることから、定期的な見回りが必要で、今回の参加者や登山者等の一般の方々にも協

力をいただきながら、設置後の状況を見守っていきたいと考えています。

また、植生の回復状況については、高知大学による研究も予定されています。

今回は、四月六日にウラジロモミ群生地等の保護を主体として防護柵の設置を行う予定です。その際には、今回同様、ポランティア団体等の幅広い協力を得て行いたいと考えています。

なお、当日の様子は、テレビ高知の「がんばれ高知eco応援団（四月一三日）」で放映される予定です。

## 「遊々の森」で 植樹を体験

〈香川所〉

高松市立屋島東小学校四年生三五名が、屋島国有林にある「遊々の森ドキドキわくわくコース」で、クスギの植樹を体験しました。

これは同校の恒例行事で、六回目となった今年は二月一三日に実施しました。

学校から歩いて一五分ほどで植樹箇所に到着し、職員の指導



「遊々の森」の思い出がいっぱいできました

を受けながら二人一組になって五〇cmほどのクスギの苗木を丁寧に植え付けました。その隣には、「早く大きくなってたくさん実をつけてね」、「また会いに来るよ!」などの思いを書いたメッセージボードを立てました。

その後、「遊々の森」の中にあるブランコやハンモックなどで遊んだり、竹や木の枝で作られた秘密基地に入ったりして屋島の自然に親しみました。

四年生の「遊々の森」での活動はこれで最後ですが、三年生からの二年間、自然観察、リース教室、森林土壌の吸水比較実験など様々な活動は、良い思い出となったようです。

## 「森林ふれあい館」 からお知らせ

〈総務課〉

現在、庁舎一階の「森林ふれあい館」では、平成一九年度に四国森林管理局・署で実施した森林環境教育等の取組状況を展示中です。特に、平成一九年度から取り組んでいる木材利用推進に繋げる森林環境教育等は、写真やパネルを使って分かりやすく展示しています。ぜひご来館ください。（四月一七日まで）



## 小学生が炭焼き体験

〈ふれあいセンター〉

二月二十六日、日高村立くさか日下小学校六年生二六名が、炭焼き体験と炭の学習をしました。

簡易炭焼き器で使う材料の竹は、運動会のマスト登りに使った竹を再利用しました。長さ四〇cm、幅約五cmの竹を器に並べフタをして土をかぶせて準備完了。着火し、煙突から白い煙

が出始めると、子ども達は一斉に注目し、煙の温度を測りながら、火の強さ、煙の様子等を観察していました。約二時間後に



どんな炭ができたかな？

焚き口を塞いで、更に二時間程冷ました後、いよいよ窯出しです。ワクワクしながら蓋を開けるときれいに焼けた竹炭が見え、歓声を挙げながら取り出していました。取り出した竹炭は二、四kgもありました。

また、ドラム缶を使ってマツボックリやドングリ、木の葉を炭にする炭焼きも体験しました。

教室では、竹炭を顕微鏡で観察したり、黒炭や白炭に電流を通す実験を行いました。質問タイムでは、「竹は樹？それとも草？」の難問が出るなど大変活発な体験学習となりました。

子ども達には、今回の学習を通して山のこと、水のこと、環境のことに関心を持ち続けてほしいと思います。

## 「源平屋島の森」を整備

多くのボランティアが参加

〈香川所〉

三月一日、屋島国有林にある「源平屋島の森」で、地元自治会、ボランティア団体、屋島東小学校の教員、児童、



今回も熱心なボランティアが参加

保護者等約一四〇名が参加して、補植と下草刈りを実施しました。

ここは、平成一八年に設定して以降、旺盛な雑草の繁殖と慢性的な渇水に悩まされ、毎年補植をしながら森林の再生に努めています。参加者は、現地の枯れた箇所「今度こそ枯れずに大きくなって」、「屋島が緑でいっぱいになりませうよ」などの思いを込めて、クヌギ、ヤマザクラ、ヤマモモ、イロハカエデの苗木を植え、手鎌を使って周りの草を刈り払いました。作業が終わった現地は見違えるほどきれいになりました。

設定当初からの参加者が多いことから作業の段取りも良く、短時間で終了して庵治湾を一望できる恵まれた景観を堪能していました。

香川森林管理事務所では、引き続き「源平屋島の森」の整備活動を継続し、国民に開かれた国有林を目指していきたいと考えています。

## 駅伝に参加

〈安芸署〉

三月二日に地元の安芸市駅伝競走が開催され、安芸森林管理署チームとして若手職員六名が参加しました。

この駅伝は、小・中学生から一般まで総勢一五〇名が参加して、安芸城跡や野良時計などの周囲二、七kmのコースを、一人一周計六周するといふものです。日頃の山歩きで鍛えた足腰の力を発揮しようとして、メンバー全員が汗を流し、息を切らせながら懸命に漕ぎつなきました。

結果は、全力を出し切ったものの九チーム中八位と少し残念

念でしたが、選手も応援する職員も大いに駅伝を楽しんでいる様子で、職員同士の親睦がさらに深まったことが大きな収穫でした。

駅伝終了後は、「来年も参加したい。してほしい」との声が多かったことから、引き続き参加して安芸森林管理署をPRしたいと考えています。



バトンタッチの瞬間（ゼッケン着用が職員）

